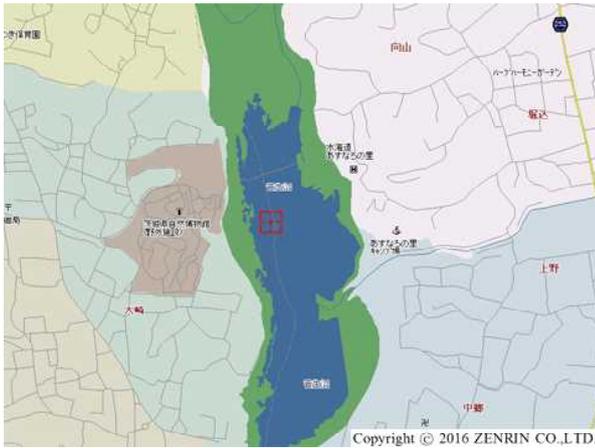


・菅生沼 (43) ・ ・常総市、坂東市

36・0・12N 139・55・10E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	11	6	11	8		7
コハクチョウ	400	321	520	446	443	426
類合計	411	327	531	454	443	433

2. 選定地の状況

茨城県南西部に位置し、85ha、水深 1 m に満たない沼である。上沼・中沼・下沼にわかれヨシ・マコモが生い茂り白鳥にとっては十分に採食可能な環境である。上沼で給餌されているが、多くは自然採食である。

茨城県では珍しく、殆どがコハクチョウであり、オオハクチョウは 10 羽程度。亜種アメリカコハクチョウが混入することもある。多くは上沼で生活し一部が中沼・下沼まで往復するが、30 羽ほどが終日、下沼で過ごす。2 月末には全て飛去する。

上沼はマガモ、オナガガモが多く、特にマガンが入り、ヘラサギが越冬したこともある。飼育種コクチョウが迷入したこともある。

(選定協力員 菊池 昶史)

・大塚池 (18) ・ ・水戸市

36・23・3N 140・24・6E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	135	181	193	174	210	179
コハクチョウ	1	3	11		5	4
類合計	136	184	204	174	215	183

2. 選定地の状況

国道 50 号沿い水戸市の住宅街の大塚池公園にあり、コブハクチョウ・コクチョウが給餌飼育されている。1970 年代、古徳沼経由の白鳥が飛来するようになり、2000 年頃には 200 羽ほどになった。公営給餌のほか、市民有志による給餌も多く、水鳥達はほとんどが給餌にたよっている。一部の白鳥は、水草のある池や水田に出て採餌することもある。

10 月中旬に飛来、3 月に古徳沼経由または直接、飛去する。近年、帰北が 4 月上旬までもつれこむようになった。

ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、オオバンが多くハシビロガモが増えてきた。ユリカモメが時に 100 羽を超えることもある。

(選定協力員 菊池 昶史)

・水戸市南西部水域（46）・水戸市

36・20・40N

140・23・54E



弁天池 1



弁天池 2

(写真提供 小曾納久男氏)

1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	165	166	124	156	160	154
コハクチョウ		44	59	68	30	40
類合計	165	210	183	224	190	194

2. 選定地の状況

水戸市南西部に弁天池・小吹池・清水沼・二ツ池（笠間市）などの溜池がある。1970年代から古徳沼・大塚池を経て白鳥達が移動・分散するようになった。それにつれて地元有志による給餌がなされるようになった。

定時給餌している弁天池が最も多く100羽以上を数えるが、日中、水田に出て採食することも多い。次いで二ツ池が50羽程度。そのため溜池は必ずしも定着せず大塚池などとの交流がある。

茨城県では菅生沼に次いでコハクチョウの多い水域であり、清水沼だけで100羽を超える事もある。なお、この清水沼は毎年ヨシガモ、オカヨシガモが、それぞれ20羽程度越冬する。

白鳥は、11月分散飛来するが12月になってから増加し、3月中旬にはほとんどいなくなる。

(選定協力員 菊池 昶史)

・ 古徳沼 (15) ・ ・ 那珂市

36・40・57N

140・26・43E



1. ハクチョウ類飛来状況 (20011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	89	64	86	103	48	78
コハクチョウ		2	18			4
類合計	89	66	104	103	48	82

2. 選定地の状況

水戸市に北接する那珂市郊外の農業用水の溜池（3ha）である。1966年オオハクチョウ3羽が初飛来。3年目に給餌についた。1977年、ガン・白鳥が茨城県まで多数南下、古徳沼にもオオハクチョウ70羽、マガン16羽、ヒシクイ4羽が入った。以来、古徳沼のオオハクチョウは、100羽を超え、近隣の溜池を含めるとハクチョウ類は300羽以上になった。以後、給餌を求めてさらに南下したり、東日本大震災で溜池が決壊するなどで漸減し、古徳沼は100羽未満のことが多い。10月末に飛来するが定着するのは、12月になってからである。3月中～下旬に飛去するが、4月になることもある。越冬するカモ類は、種・羽数ともに多くアカハジロが飛来したこともある。カワウが杉林で繁殖し、樹木の枯死被害が出るようになった。

(選定協力員 菊池 昶史)